

高知県の経済概況

作成日

R元.9.13

統計分析課

作成時点で公表されている県内経済に関係の深い指標を使い、下記6分野別に経済概況を取りまとめました。

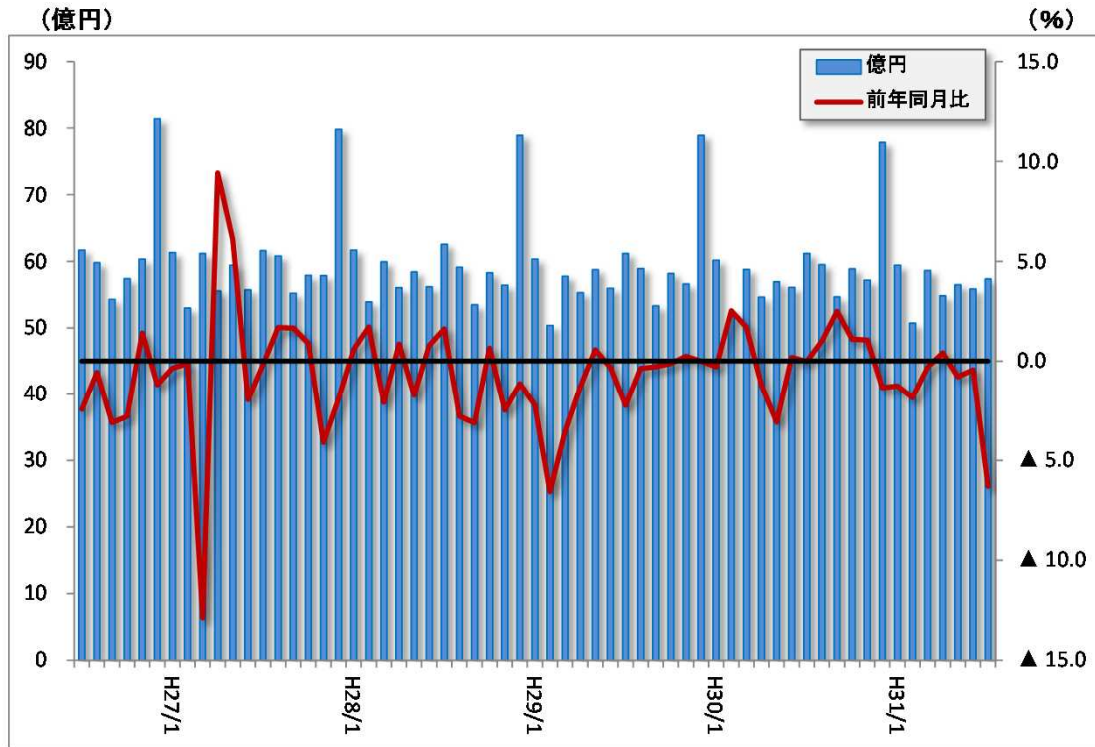
<分野別の動向>

項目	動向
消費	※特に断りのない限り、指標の増減は対前年同月比を指す ・百貨店・スーパー販売額は3ヵ月連続のマイナスとなり、百貨店販売額は8ヵ月連続のマイナスとなった。 ・自動車販売は、3ヵ月連続のプラスとなった。 ・観光施設入込客数は、2ヵ月ぶりのプラスとなった。
投資	・住宅投資は、2ヵ月連続のマイナスとなった。 ・建築投資(住宅及び公務を除く)は、5ヵ月連続のプラスとなった。 ・公共投資は、4ヵ月連続のプラスとなった。
生産	・製造業の生産は、前月比では下降、前年比ではマイナスとなった。
雇用・所得	・有効求人数は、2ヵ月連続のプラスとなった。 ・雇用保険受給者は、4ヵ月連続のプラスとなった。 ・所定外労働時間指数は、前年同月比同水準となった。 ・有効求人倍率は、1.32倍と前月比下降となった。 ・現金給与総額指数は、2ヵ月連続のプラスとなった。 ・常用雇用指数は、15ヵ月連続のプラスとなった。
物価	「総合」、「生鮮食品を除く総合」及び「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」はともにプラスとなった。
金融・倒産	・国内銀行の県内貸出残高は、前年比プラスとなった。 ・貸出約定平均金利(銀行)は、前月差下降となった。 ・企業倒産は、件数は同水準、負債総額は前月比上昇となった。

消費

1 百貨店・スーパー販売額（7月）

「飲食料品」、「衣料品」、「その他の商品」など全ての品目で前年を下回り、全体としては3か月連続のマイナスとなった。



(四国経済産業局)

結果概要

<全体>

- ・57億4千万円。前年同月比▲6.3%(25店舗)。
- ・3か月連続のマイナス。

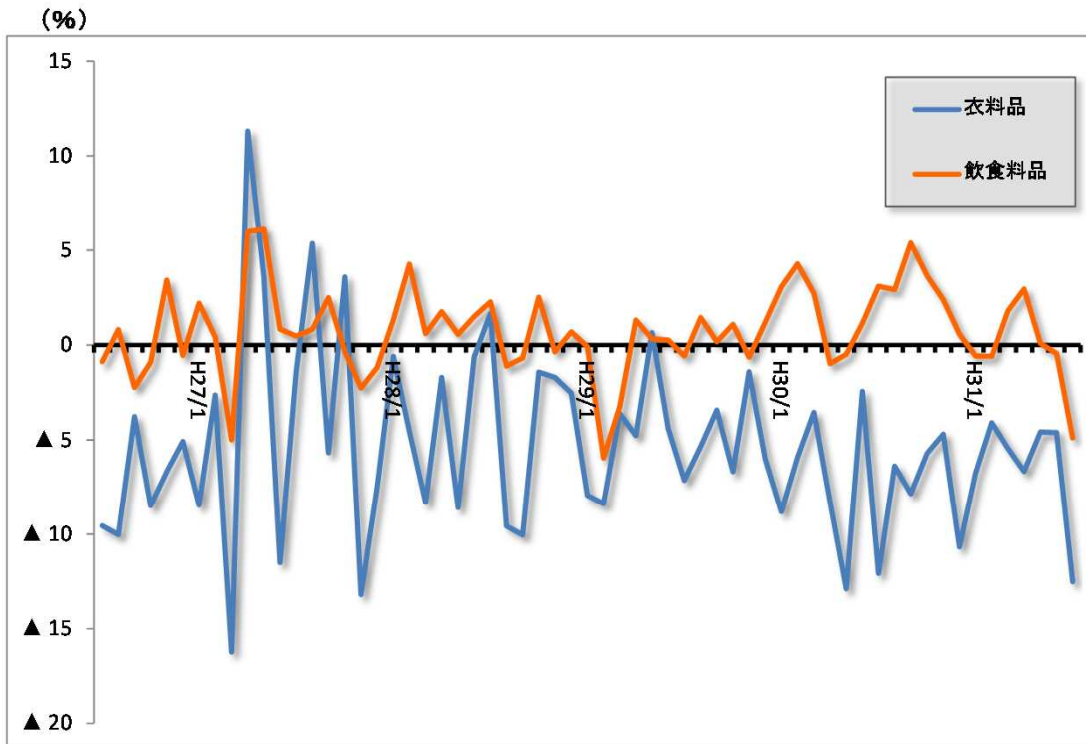
	(億円・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
販売額	50.7	58.6	54.9	56.5	55.9	57.4
前年同月比	▲ 1.8	▲ 0.3	0.4	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 6.3

指標解説

- ・売場面積が1500m²以上の百貨店とスーパーの販売額。
- ・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

消費

＜衣料品と飲食料品の前年同月比率＞ 衣料品は26ヵ月連続のマイナス、飲食料品は2ヵ月連続のマイナスとなった。



(四国経済産業局)

結果概要

＜品目別＞

- ・衣料品販売額は前年同月比▲12.5%。
- ・飲食料品販売額は前年同月比▲4.9%。

	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
衣料品	▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 6.6	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 12.5
飲食料品	▲ 0.6	1.8	3.0	0.1	▲ 0.4	▲ 4.9

指標解説

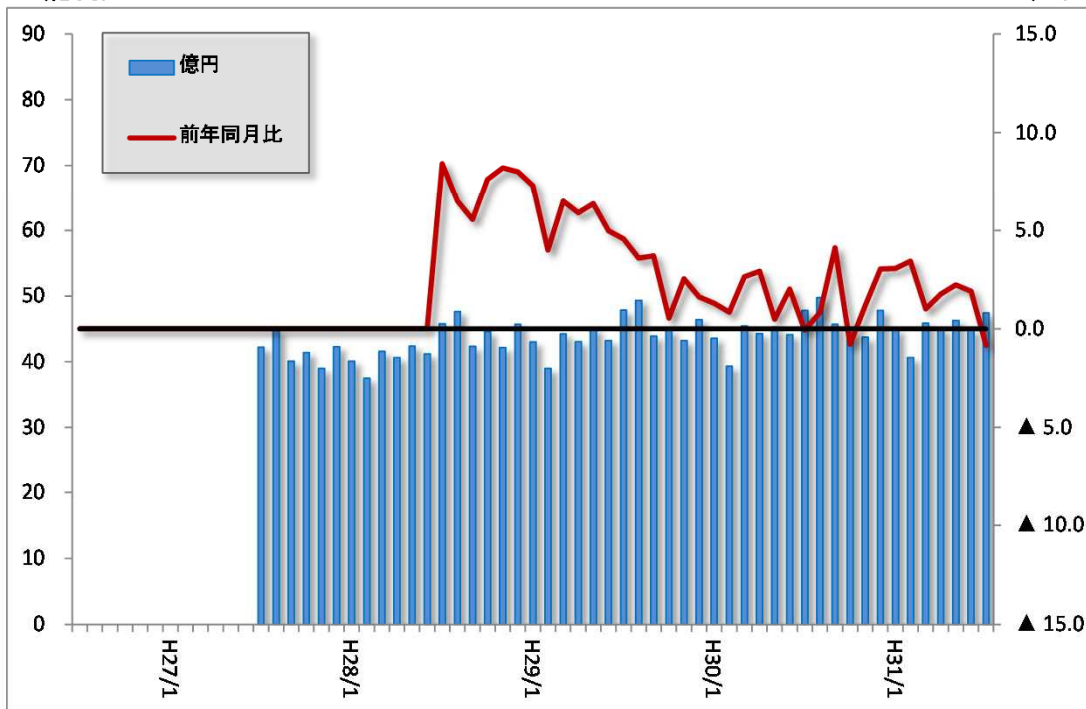
- ・上記大型小売店販売状況のうち、衣料品と飲食料品の推移を前年同月比で表したものを。
- ・一般に飲食料品に比べて、衣料品の動きは景気に左右されやすい。

消費

<参考：コンビニエンスストア>

(億円)

(%)



※平成27年7月より公表開始。

(四国経済産業局)

結果概要

<全体>

- ・47億5千万円。前年同月比▲0.8%(282店舗)。
- ・9か月ぶりのマイナス。

(億円・店・%)

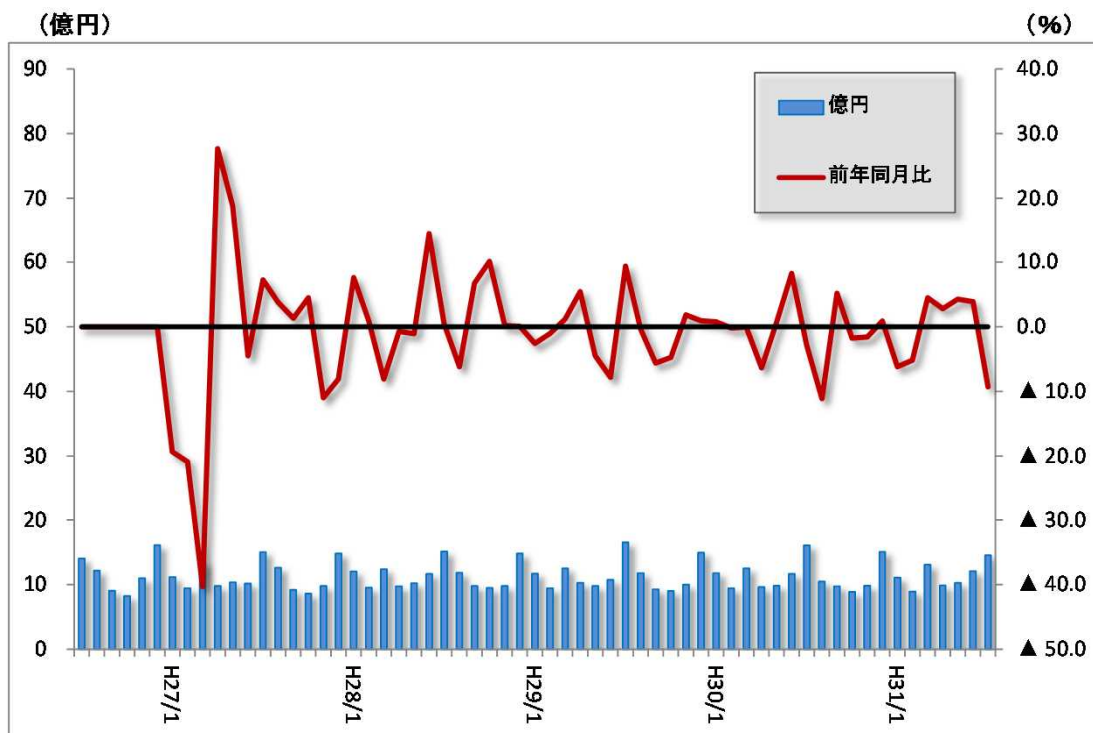
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
販売額	40.7	45.9	45.1	46.3	45.0	47.5
前年同月比	3.4	1.0	1.8	2.2	1.9	▲ 0.8
店舗数	285	283	281	282	282	282
前年同月比	0.0	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 1.4

指標解説

・直営やフランチャイズ・チェーン店などの形態に関係なく、全国に500店舗以上を有するコンビニの高知県内の販売額。

消費

<参考：家電大型専門店>



※平成26年1月より公表開始。

(四国経済産業局)

結果概要

<全体>

- ・14億6千万円。前年同月比▲9.3%(14店舗)。
- ・5カ月ぶりのマイナス。

(億円・店・%)

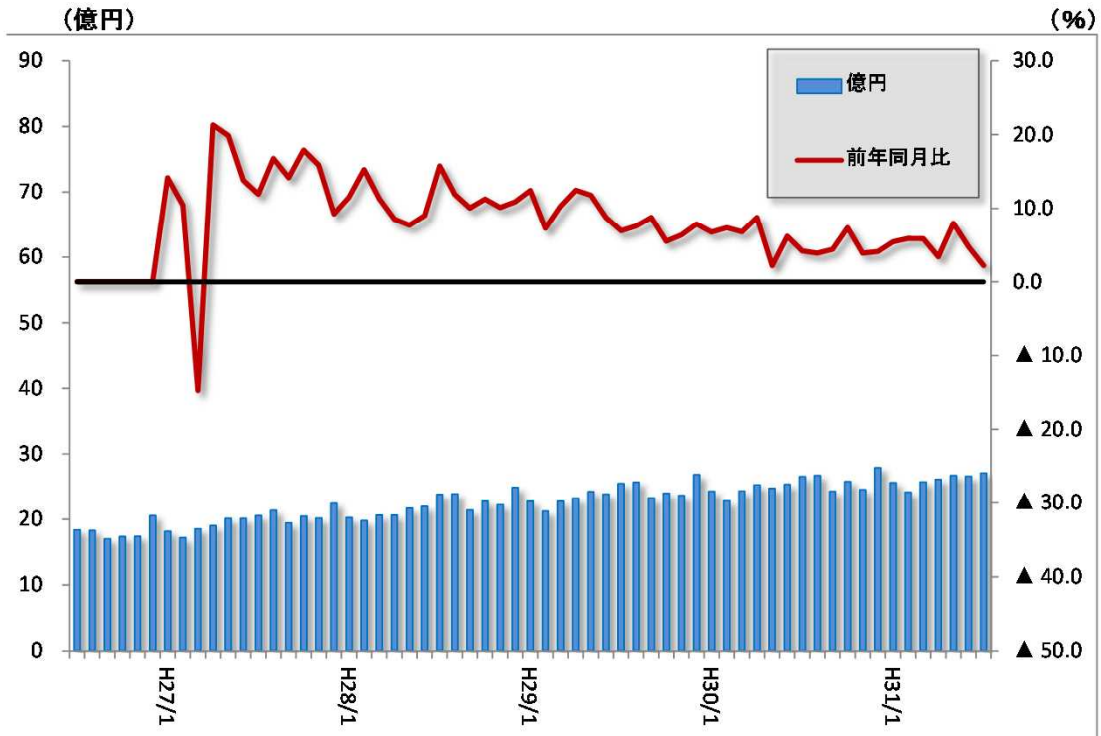
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
販売額	9.0	13.1	9.9	10.3	12.1	14.6
前年同月比	▲ 5.2	4.5	2.8	4.3	3.9	▲ 9.3
店舗数	14	14	14	14	14	14
前年同月比	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

指標解説

・売場面積500㎡以上の店舗を全国で10店舗以上有する家電大型専門店の高知県内の販売額。

消費

＜参考：ドラッグストア＞



※平成26年1月より公表開始。

(四国経済産業局)

結果概要

＜全体＞

- ・27億1千万円。前年同月比+2.2%(87店舗)。
- ・52カ月連続のプラス。

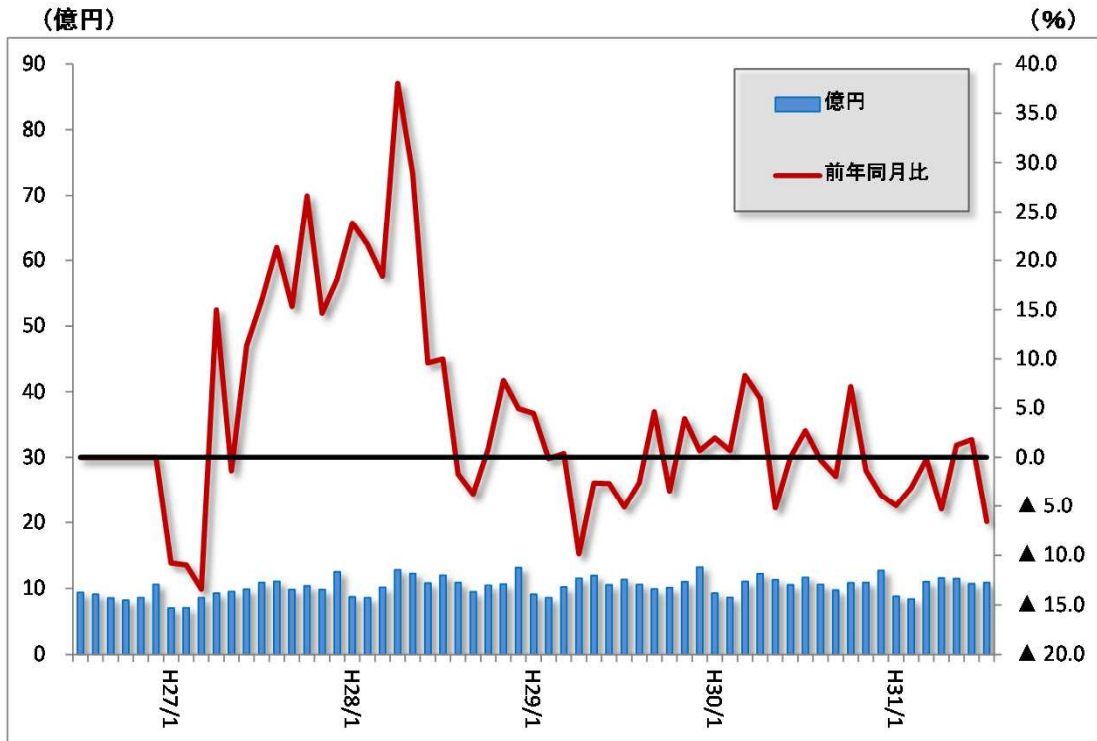
	(億円・店・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
販売額	24.1	25.7	26.1	26.7	26.5	27.1
前年同月比	5.9	5.8	3.4	8.0	4.8	2.2
店舗数	85	85	86	86	87	87
前年同月比	6.3	3.7	6.2	4.9	6.1	6.1

指標解説

- ・全国で50店舗以上有するもしくは販売額が100億円以上のドラッグストアの高知県内の販売額。

消費

＜参考：ホームセンター＞



※平成26年1月より公表開始。

(四国経済産業局)

結果概要

＜全体＞

- ・10億9千万円。前年同月比▲6.6%(41店舗)。
- ・3カ月ぶりのマイナス。

(億円・店・%)

	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
販売額	8.4	11.0	11.6	11.5	10.7	10.9
前年同月比	▲ 3.1	▲ 0.2	▲ 5.3	1.2	1.8	▲ 6.6
店舗数	41	41	41	41	41	41
前年同月比	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

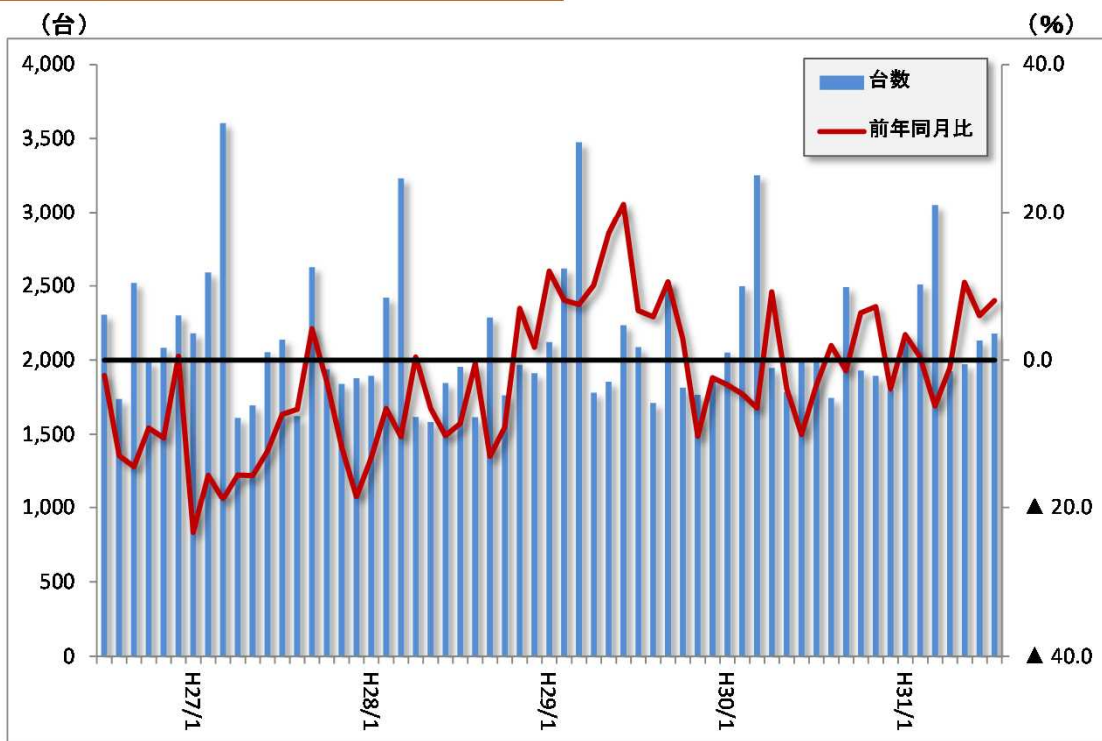
指標解説

- ・全国で10店舗以上有するもしくは販売額が200億円以上のホームセンターの高知県内の販売額。

消費

2 新車登録・届出台数 (7月)

登録車は3か月連続のプラスとなり、軽乗用車は3か月連続のプラスとなった。
全体では3か月連続のプラスとなった。



(四国運輸局)

結果概要

<全体>

- ・2,180台(普通617、小型556、軽1,007)。
- ・前年同月比+8.1%。
- ・3か月連続のプラス。

<車種別>

- ・登録車 : +8.4%(3か月連続のプラス)
- ・軽乗用車: +7.7%(3か月連続のプラス)

(台・%)

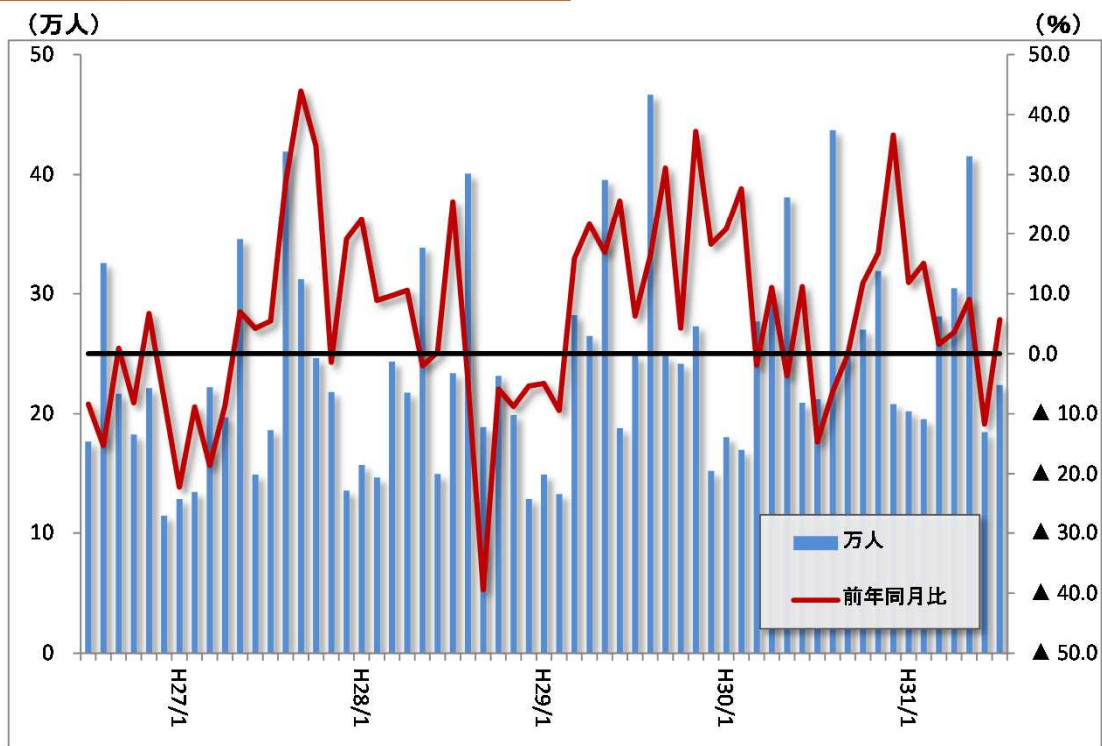
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
新車登録・届出	2,512	3,053	1,927	1,974	2,134	2,180
前年同月比	0.5	▲ 6.2	▲ 1.1	10.5	6.0	8.1

指標解説

- ・普通乗用車(3ナンバー)、小型乗用車(5、7ナンバー)の登録台数と軽乗用車の届出台数を合計したもの。
- ・景気の悪化による、個人消費の落ち込みや消費マインドの委縮は高額商品である登録車(乗用車)の販売台数に反映される傾向がある。
- ・景気動向指数の「先行指標」の系列に採用されることが多い。

消費

3 主要観光施設入込客数（7月） 2か月ぶりのプラスとなった。



(高知県観光政策課「月別観光施設利用実績」)

結果概要

<全体>

- ・22万4千人。前年同月比+5.7%。
- ・2か月ぶりのプラス。

	(万人・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
入込客数	19.5	28.1	30.5	41.5	18.5	22.4
前年同月比	15.1	1.6	3.6	9.0	▲ 11.7	5.7

<参考>県外観光客入込数(観光政策課)

	(万人)					
	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
県外客数	407.2	401.3	402.3	424.4	440.6	441.2

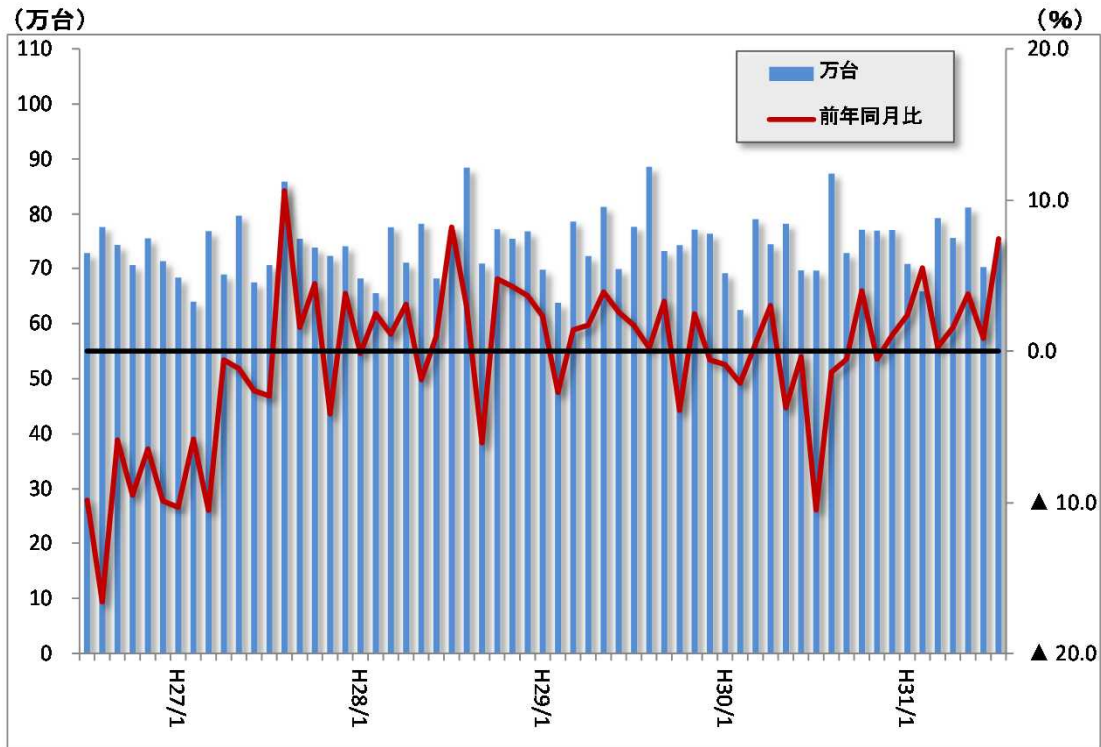
指標解説

- ・県内主要観光施設の利用者数(67施設)。
- ・リョーマの休日:平成24年4月～
 - ☆自然・体験キャンペーン:平成31年1月～32年12月
 - ☆志国高知幕末維新博:平成29年3月～31年1月
 - ☆奥四万十博:平成28年4月～12月
 - ☆まるごと東部博:平成27年4月～12月
 - ☆楽しまんと!はた博:平成25年7月～12月
- ・志国高知龍馬ふるさと博:平成23年3月～24年3月

消費

<参考：有料道路利用実績>

8か月連続のプラスとなった。



(高知県観光政策課「月別観光施設利用実績」)

結果概要

<全体>

- ・74万8千台。前年同月比+7.4%
- ・8か月連続のプラス

	(万台・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
利用台数	65.8	79.3	75.6	81.2	70.2	74.8
前年同月比	5.5	0.2	1.6	3.8	0.8	7.4

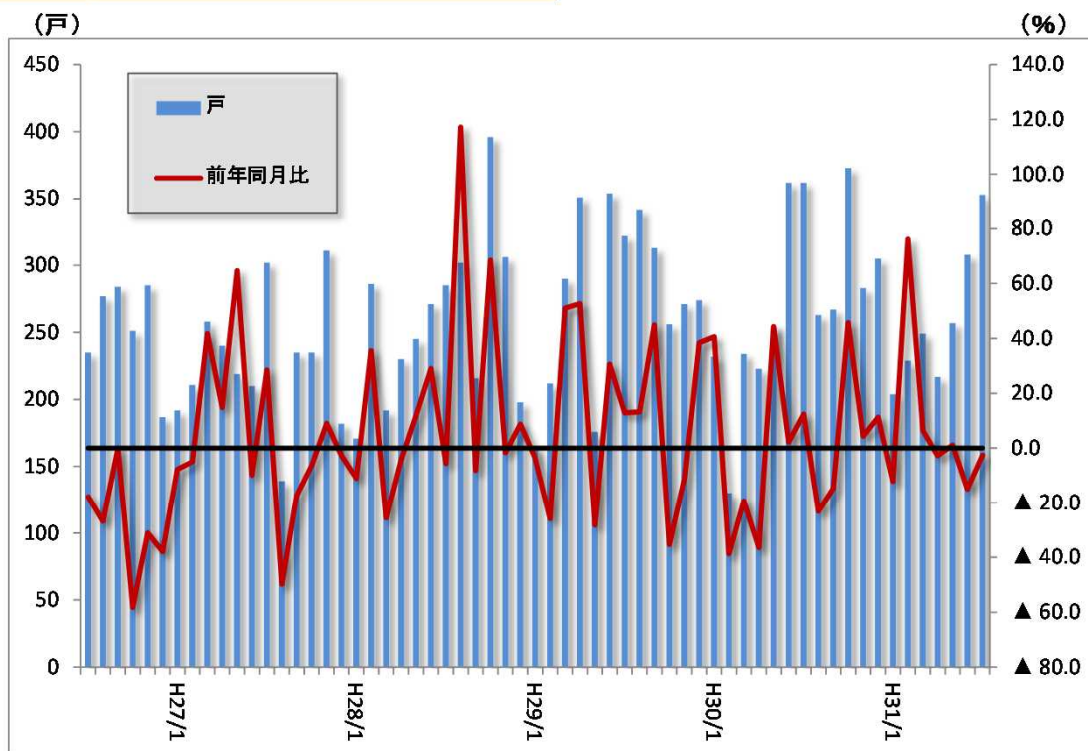
指標解説

- ・大豊、南国、高知、伊野、土佐、須崎東の各インターチェンジの出口を通過した車の台数の合計。
- ・自動2輪車～特大車の全てを含む。

投資

1 新設住宅着工戸数（7月）

分譲住宅で増加したものの、持家、貸家では減少し、全体では2ヵ月連続のマイナスとなった。



(国土交通省)

結果概要

<全体>

- ・353戸。前年同月比▲2.5%。
- ・2ヵ月連続のマイナス。

	(戸・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
着工戸数	229	249	217	257	308	353
前年同月比	76.2	6.4	▲ 2.7	1.2	▲ 14.9	▲ 2.5

<参考>

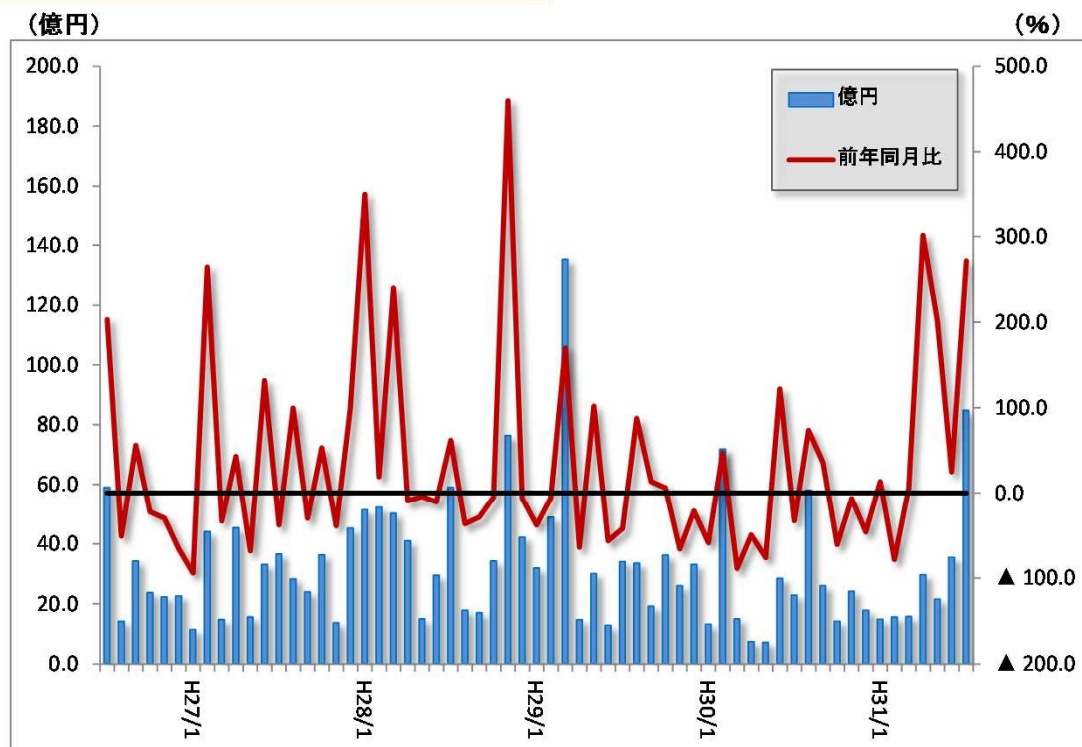
	(戸)					
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
着工戸数	3,658	2,755	2,722	3,116	3,255	3,374

指標解説

- ・床面積10m²以上の住宅(持ち家、貸家、給与住宅、分譲住宅)の着工数。
- ・住宅は設備や部品が多く、関連産業の裾野が広く、景気にも敏感に左右される。
- ・景気動向指数の「先行指標」の系列に採用されることが多い。

投資

2 用途別着工建築物工事代金 (7月) 「鉱業・建設」、「医療・福祉」などで減少したもの、「卸・小売」、「飲食・宿泊」などで増加し、全体では5ヵ月連続のプラスとなった。



(国土交通省)

結果概要

<全体>

- ・84億8千万円。前年同月比+271.4%。
- ・5ヵ月連続のプラス。

(億円・%)

	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
工事金額	15.6	15.8	29.6	21.5	35.4	84.8
前年同月比	▲ 78.3	5.5	301.3	200.9	24.6	271.4

指標解説

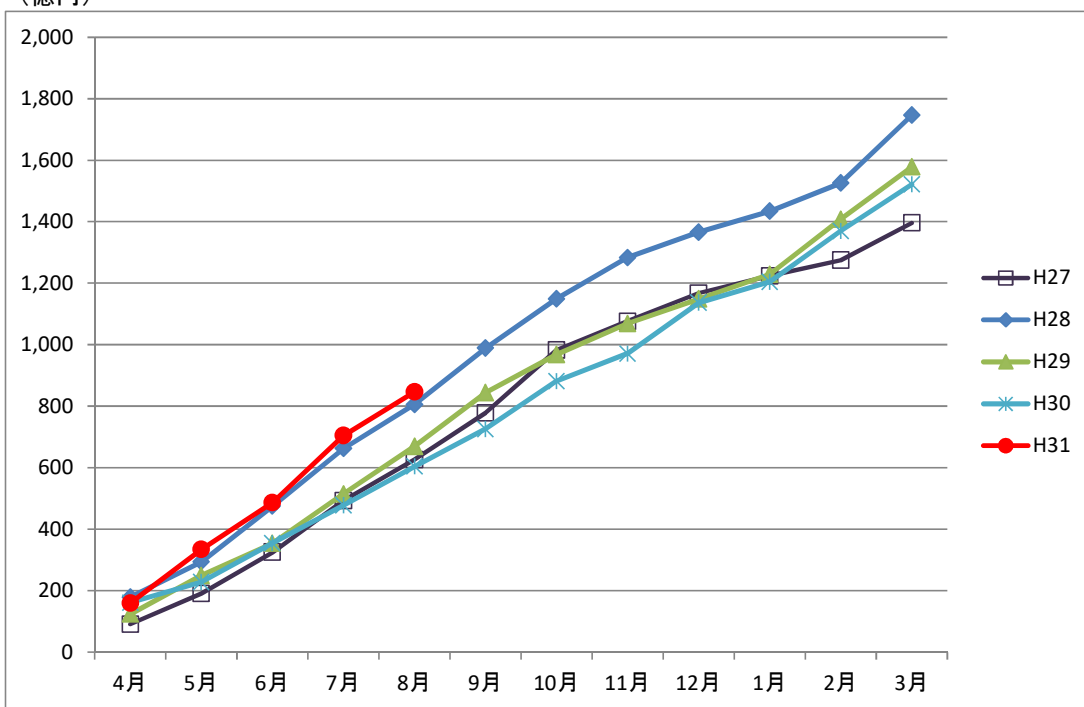
- ・工事に着手した新築、増築又は改築に係る床面積10m²以上の産業(製造業、卸売小売業など)の用に供される建築物の工事金額。
- ・民間企業を中心とした建築投資の状況を知ることができる。

投資

3 公共工事前払保証請負金額（8月）

単月では、国、県、市町村すべてでプラスとなり、全体では4か月連続のプラスとなった。
累計では、国、県、市町村すべてでプラスとなった。

(億円)



(西日本建設業保証(株)高知支店)

結果概要

<単月>

- ・142億円。前年同月比+12.1%。
- ・4か月連続のプラス。

<累計>

- ・847億円。前年同月比+40.1%。
- ・4か月連続のプラス。

(億円・%)

	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7	R元/8
単月	152	160	175	152	218	142
前年同月比	▲ 10.6	▲ 0.7	160.6	19.9	77.6	12.1
累計	1,521	160	335	487	705	847
前年同月比	▲ 3.6	▲ 0.7	46.6	37.1	47.5	40.1

H24年度1,198億円 H25年度1,518億円 H26年度1,674億円
H27年度1,396億円 H28年度1,746億円 H29年度1,578億円
H30年度1,521億円

指標解説

- ・西日本建設業保証(株)高知支店の保証により、前払金が支払われた公共工事の請負金額。
- ・高知県の公共工事に対する保証対象の請負金額のシェアは、70%程度と推定されている。

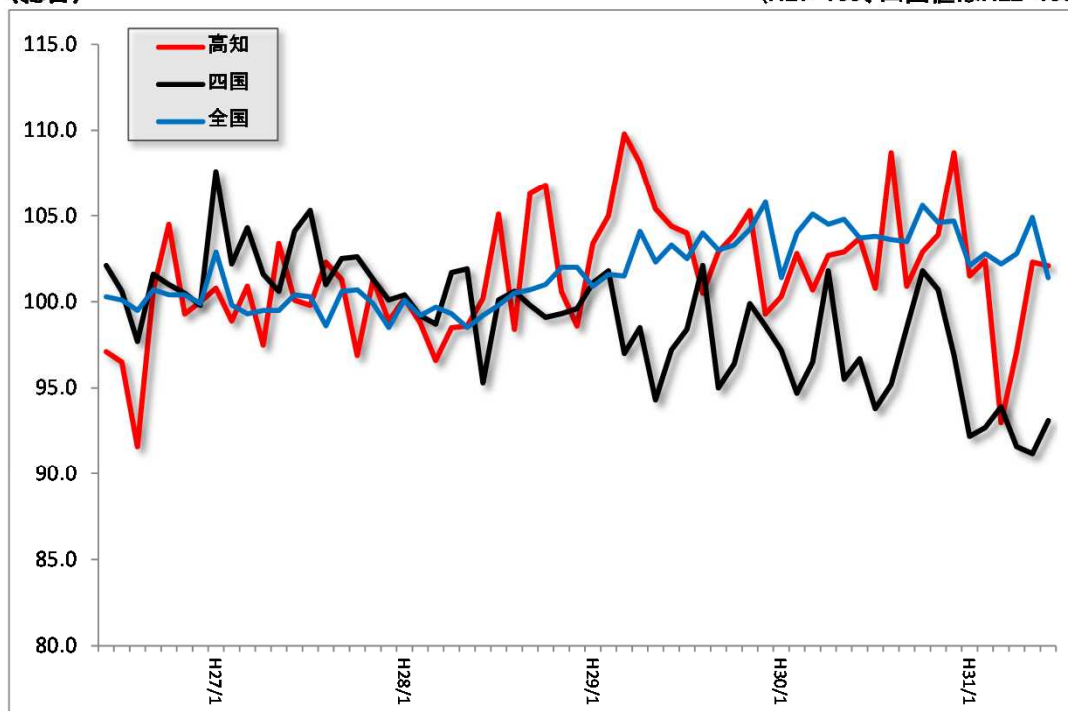
生産

1 鉱工業生産指数（6月）

前月比では、四国では上昇、全国、本県では下降となった。

〈総合〉

(H27=100、四国値はH22=100)



(高知県統計分析課)

結果概要

- ・季節調整済指数は102.1。対前月比▲0.2%。
- ・原指数は100.2。対前年同月比▲3.0%。

(H27=100、四国値はH22=100)

	H31/1	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6
高知県	101.5	102.4	93.0	97.1	102.3	102.1
四国	92.2	92.7	93.9	91.6	91.2	93.1
全国	102.1	102.8	102.2	102.8	104.9	101.4

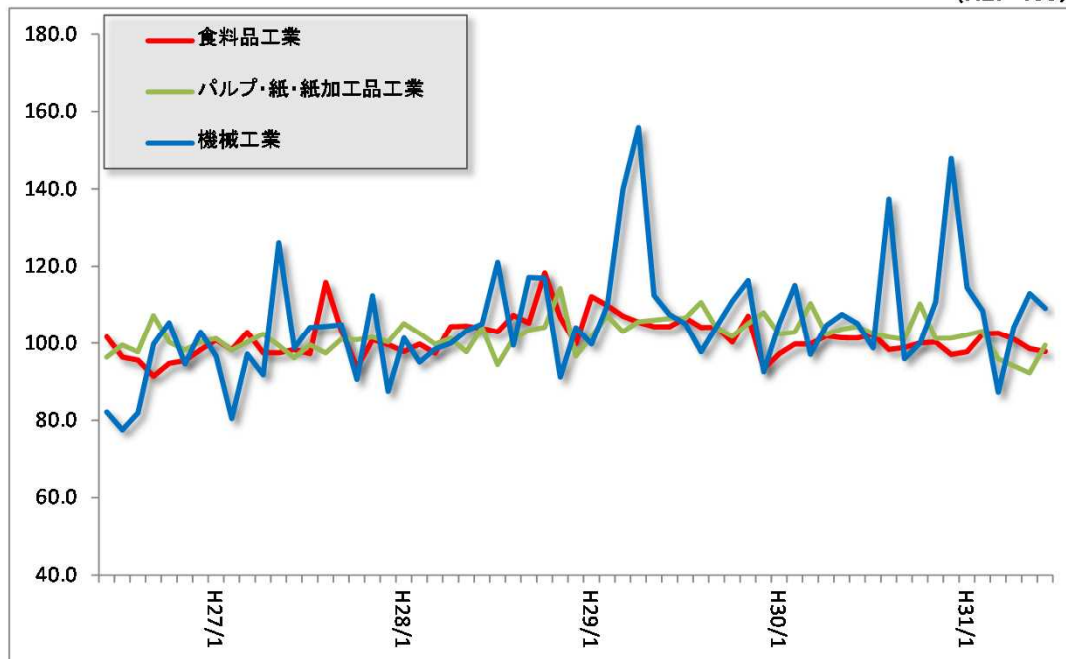
指標解説

- ・鉱業、製造業に属する企業の生産活動状況を示すものとして作成されている。
- ・速報性があり、景況感を測る指標としても利用されることがある。
- ・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

生産

＜主要3業種＞ 前月比では、食料品工業、機械工業は下降、パルプ・紙・紙加工品工業は上昇となった。

(H27=100)



(高知県統計分析課)

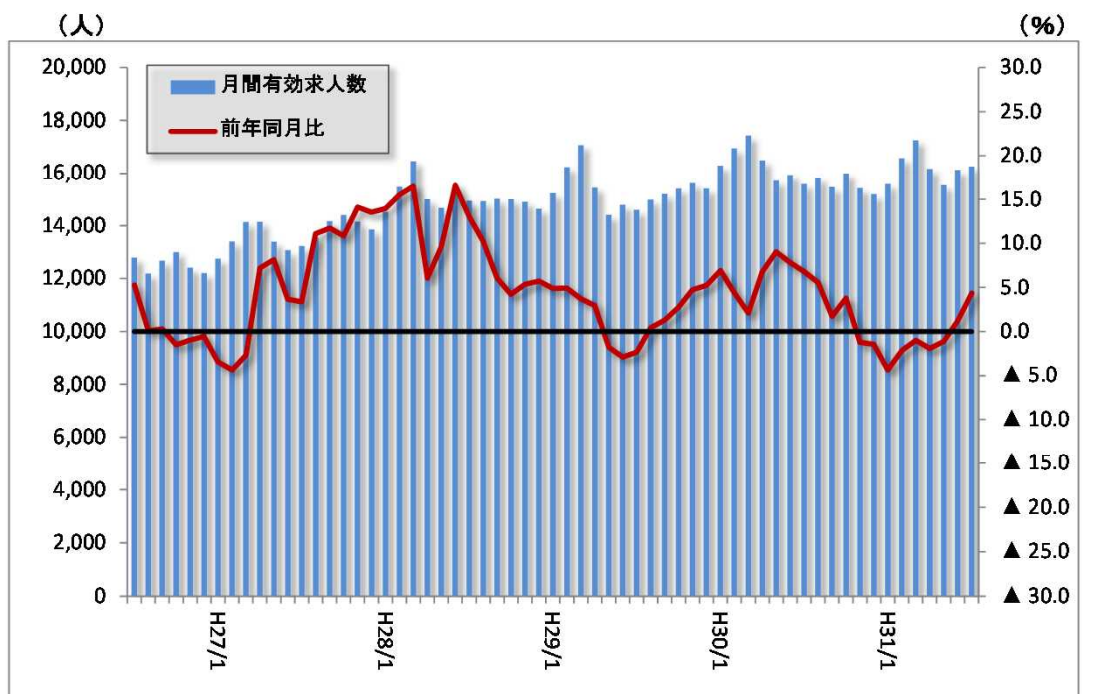
結果概要

- ・食料品工業の季節調整済指数は97.8
前月比▲0.7% (原指数)前年同月比▲3.2%
- ・パルプ、紙、紙加工品工業の季節調整済指数は99.4
前月比+7.8% (原指数)前年同月比▲6.2%
- ・機械工業の季節調整済指数は109.1
前月比▲3.4% (原指数)前年同月比▲1.2%

雇用所得

1 求人数 (7月)

<月間有効求人数> 2か月連続のプラス



(高知労働局)

結果概要

<全体>

- ・16,256人。前年同月比+4.3%。
- ・2か月連続のプラス。

	(人・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
有効求人数	16,573	17,243	16,165	15,529	16,126	16,256
前年同月比	▲ 2.1	▲ 1.0	▲ 1.9	▲ 1.1	1.2	4.3

<参考>

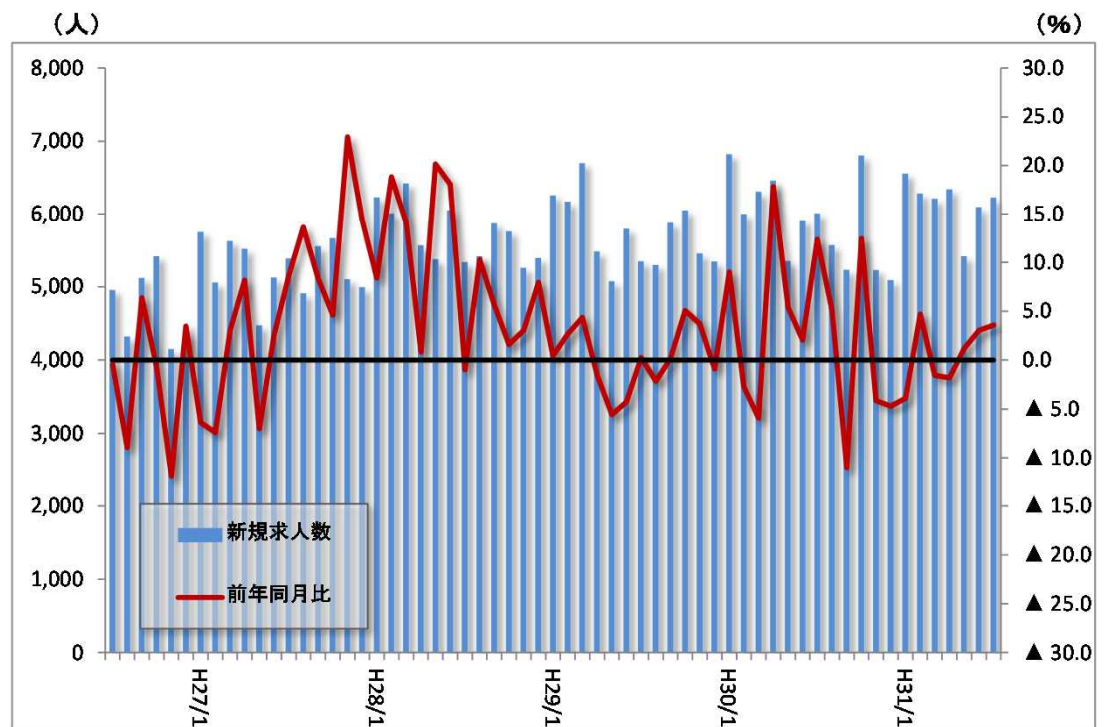
	(人)					
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
有効求人数	152,748	153,683	170,347	182,838	186,462	190,964

指標解説

・公共職業安定所(ハローワーク)が扱う「前月から繰越された求人数」と当月の「新規求人数」の合計数。

雇用所得

＜新規求人数（学卒除きパートタイム含む）＞「製造業」、「農、林、漁業」などで減少したものの、「医療、福祉」、「卸売業、小売業」などで増加した。



(高知労働局)

結果概要

＜全体＞

- ・6,224人。前年同月比+3.6%。
- ・3か月連続のプラス。

(人・%)

	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
新規求人数	6,283	6,209	6,342	5,415	6,094	6,224
前年同月比	4.7	▲ 1.5	▲ 1.8	1.2	3.1	3.6

＜参考＞

(人)

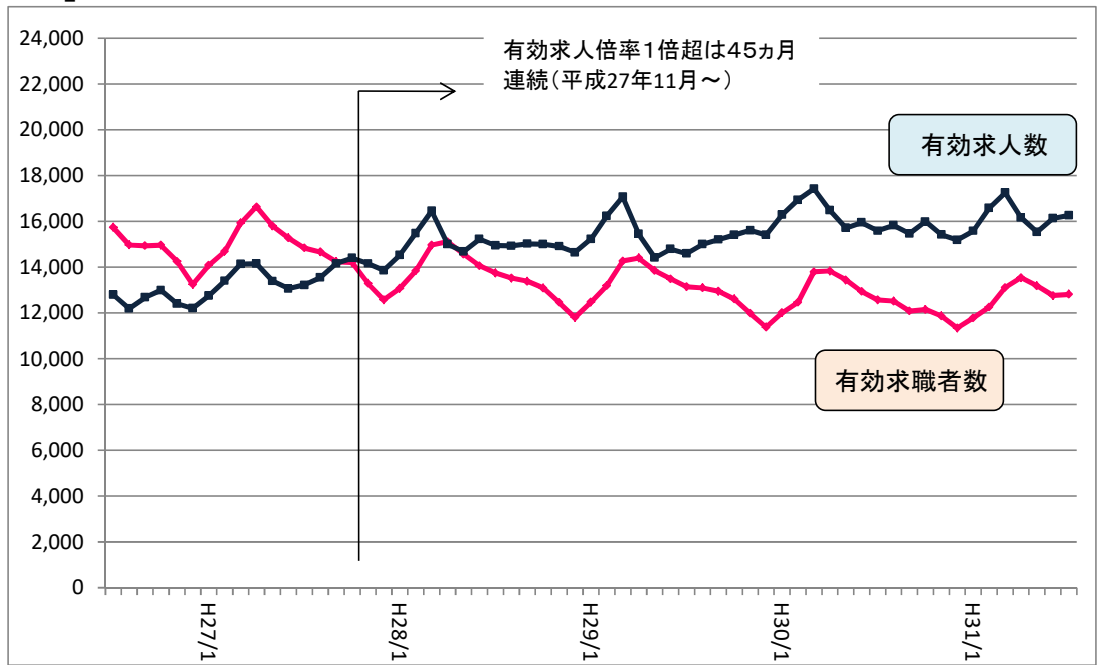
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
有効求人数	60,469	59,662	65,380	69,137	68,848	70,702

指標解説

- ・公共職業安定所(ハローワーク)が扱うその月のうちに新たに受けた求人数(採用予定人員)。
- ・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

[参考] <有効求人数と有効求職者数の推移（原数値）> (人)



(高知労働局)

結果概要

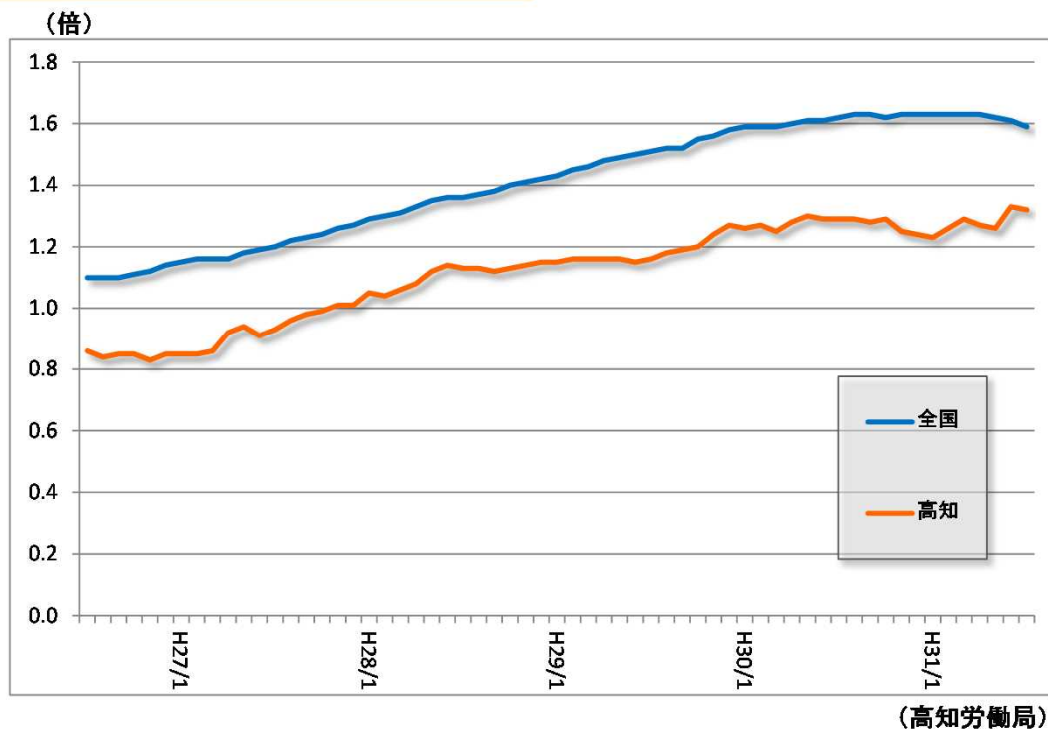
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
有効求職者数	12,251	13,103	13,531	13,182	12,756	12,809
有効求人数	16,573	17,243	16,165	15,529	16,126	16,256

(人)

雇用所得

2 有効求人倍率（7月）

本県は1.32倍(前月差▲0.01ポイント)。全国は1.59倍(前月差▲0.02ポイント)。



結果概要

<全体>

- ・1.32倍。
- ・前月差▲0.01ポイント。

(倍)

	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
高知県	1.26	1.29	1.27	1.26	1.33	1.32
全国	1.63	1.63	1.63	1.62	1.61	1.59

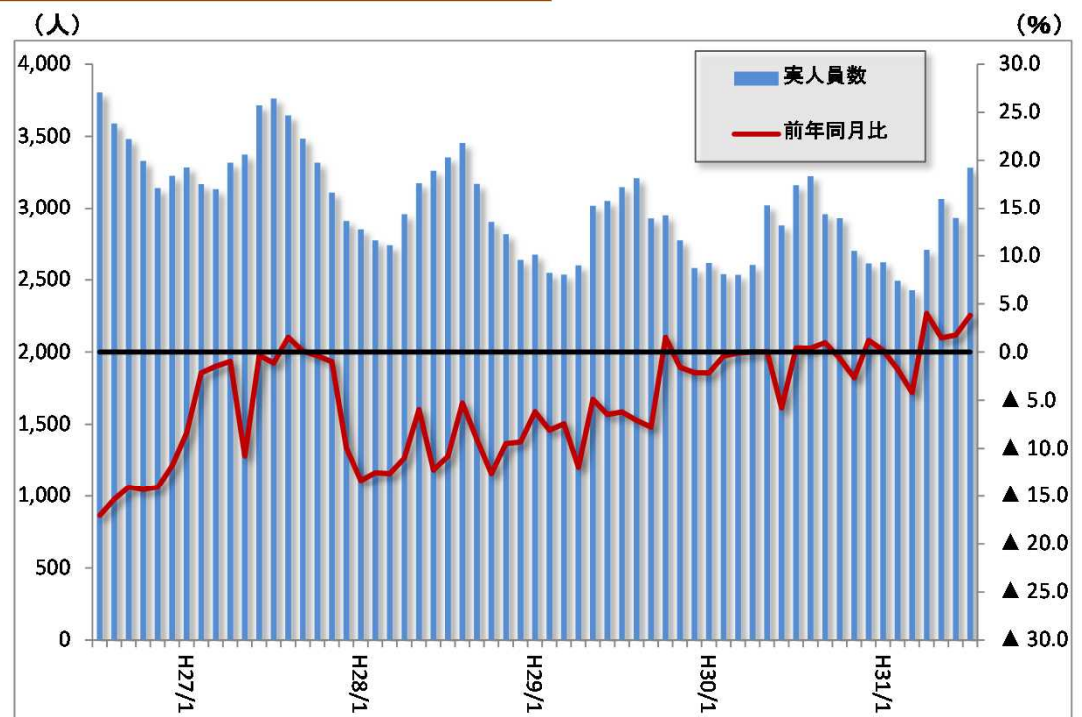
指標解説

・前月から繰越された数に新規の人数を加えた有効求職者数に対する有効求人数の割合で、求職者1人当たり何件の求人があるかを示すもの。

- ・一般に倍率が上昇しているときは、景気がよくなっていると言われている。
- ・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

3 雇用保険受給者実人員（7月） 4か月連続のプラスとなった。



(高知労働局)

結果概要

<全体>
・3,282人。前年同月比+3.8%。

	(人・%)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
受給者実人員	2,493	2,428	2,707	3,065	2,927	3,282
前年同月比	▲ 1.8	▲ 4.2	▲ 4.0	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 3.8

	(人)					
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
受給者実人員	3,912	3,418	3,249	2,956	2,828	2,801

※受給者実人員の年度の数値は月平均を算出

指標解説

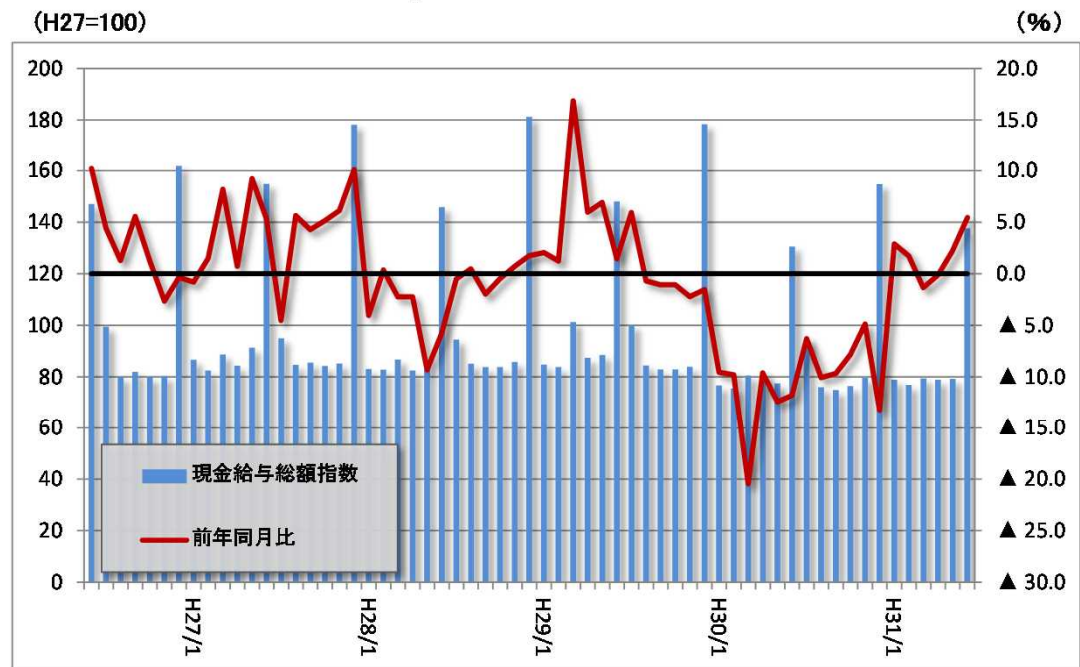
- ・失業給付を実際に受けた受給資格者の実数で、景気が良くなれば減少する傾向にある。
- ・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

4 毎月勤労統計（6月）

※毎月勤労統計
従業者数5人以上の事業所を無作為に抽出して雇用、給与、労働時間の毎月の変動を調べる調査。

＜現金給与総額指数＞ 「宿泊業、飲食サービス業」、「卸売業、小売業」などで前年を下回ったものの、「建設業」、「医療、福祉」などで前年を上回り、全体では2か月連続のプラスとなった。



(高知県統計分析課)

結果概要

＜全体＞

- ・137.5。前年同月比+5.4%。
- ・2か月連続のプラス。

	(H27=100)					
	H31/1	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6
現金給与	78.8	76.8	79.4	78.8	79.1	137.5
前年同月比	2.9	1.7	▲ 1.4	▲ 0.1	2.2	5.4

指標解説

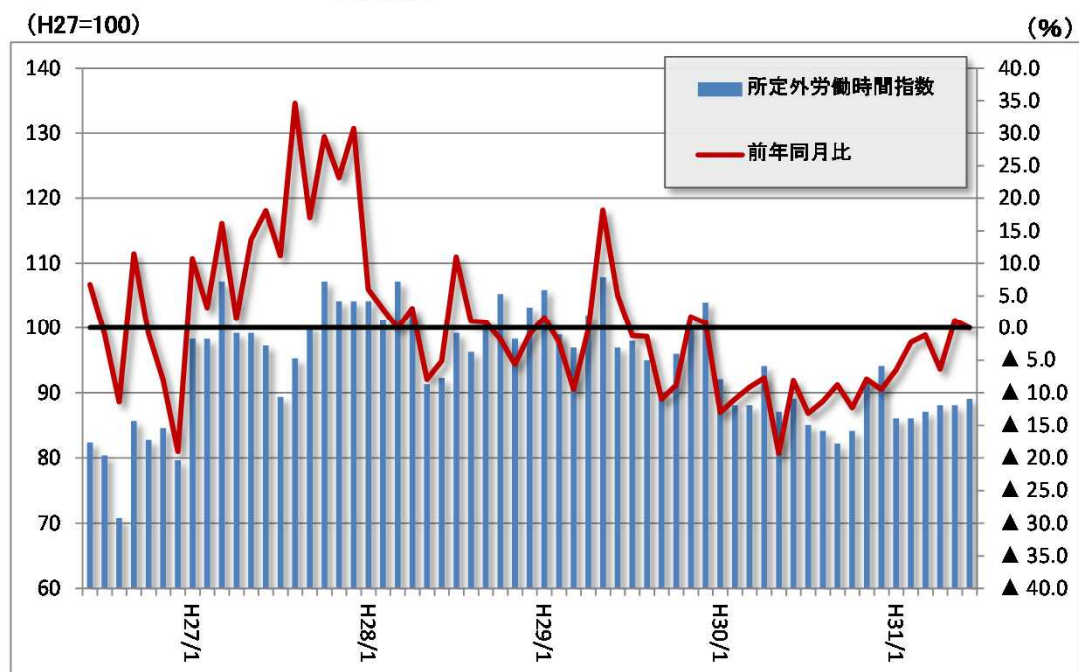
・所得税、社会保険料、組合費等を差し引く前の総額。

※現金給与総額= きまって支給する給与(所定内給与、時間外手当)
+ 特別に支払われた給与(ボーナス、精勤手当等)

・家計における消費の元手資金となる。

雇用所得

<所定外労働時間指数> 「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」などで前年を下回ったものの、「運輸業、郵便業」、「医療、福祉」などで前年を上回り、全体では前年同月比同水準となった。



(高知県統計分析課)

結果概要

<全体>
・89.1。前年同月比同水準。

(H27=100)

	H31/1	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6
所定外労働時間	86.1	86.1	87.1	88.1	88.1	89.1
前年同月比	▲ 6.5	▲ 2.3	▲ 1.1	▲ 6.4	1.1	0.0

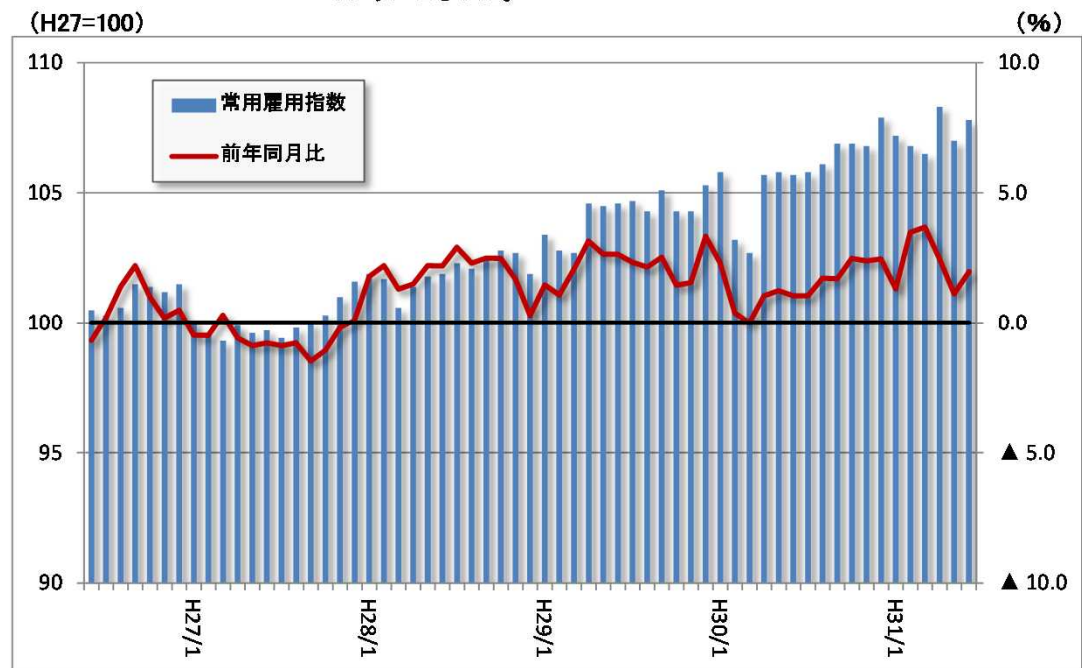
指標解説

- ・就業規則で定められた時間を超過して勤務した時間。
- ・景気動向指数の「先行指数(製造業)」や「一致指数(全産業)」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

<常用雇用指数>

「金融業、保険業」、「卸売業、小売業」などで前年を下回ったものの、「宿泊業、飲食サービス業」、「製造業」などで前年を上回り、全体では15ヵ月連続のプラスとなった。



(高知県統計分析課)

結果概要

<全体>

- ・107.8。前年同月比+2.0%。
- ・15ヵ月連続のプラス。

	(H27=100)					
	H31/1	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6
常用雇用	107.2	106.8	106.5	108.3	107.0	107.8
前年同月比	1.3	3.5	3.7	2.5	1.1	2.0

指標解説

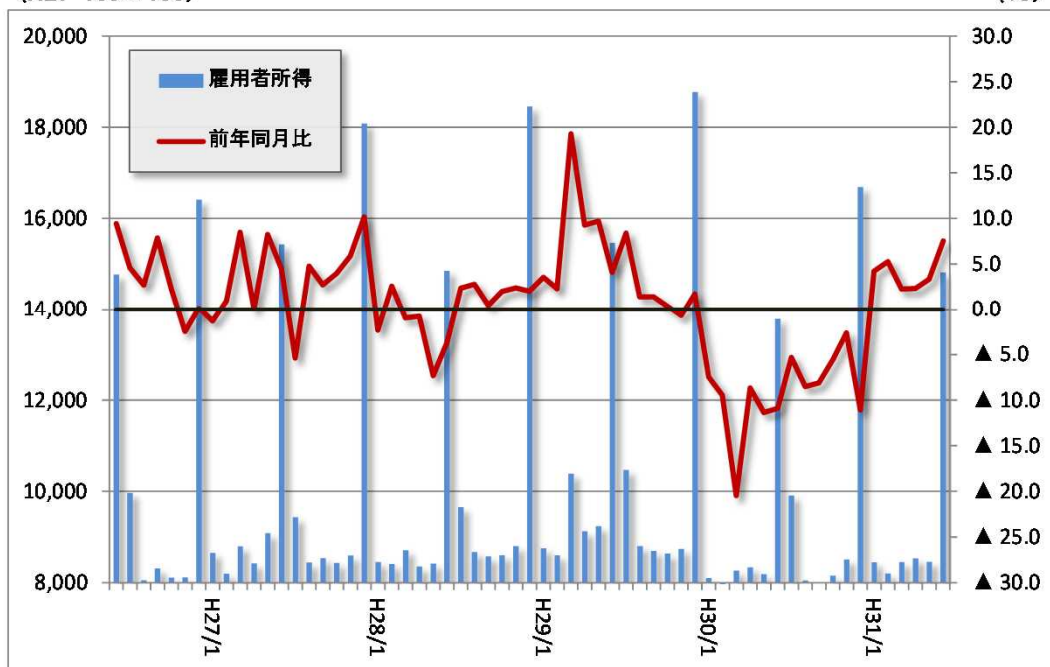
- ・期間を定めずに、又は1ヵ月以上の期間を定めて雇われている人
- ・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

＜雇用者所得指数＞ 現金給与総額指数、常用雇用指数ともにプラスとなり、全体では6か月連続のプラスとなった。

(H27=100×100)

(%)



(高知県統計分析課)

結果概要

＜全体＞

- ・14,823。前年同月比+7.5%。
- ・6か月連続のプラス。

(H27=100×100)

	H31/1	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6
雇用者所得	8,447	8,202	8,456	8,534	8,464	14,823
前年同月比	4.2	5.3	2.3	2.3	3.4	7.5

指標解説

・現金給与総額指数と常用雇用指数の積で、県全体の雇用者所得の動きを把握する指標の1つである。

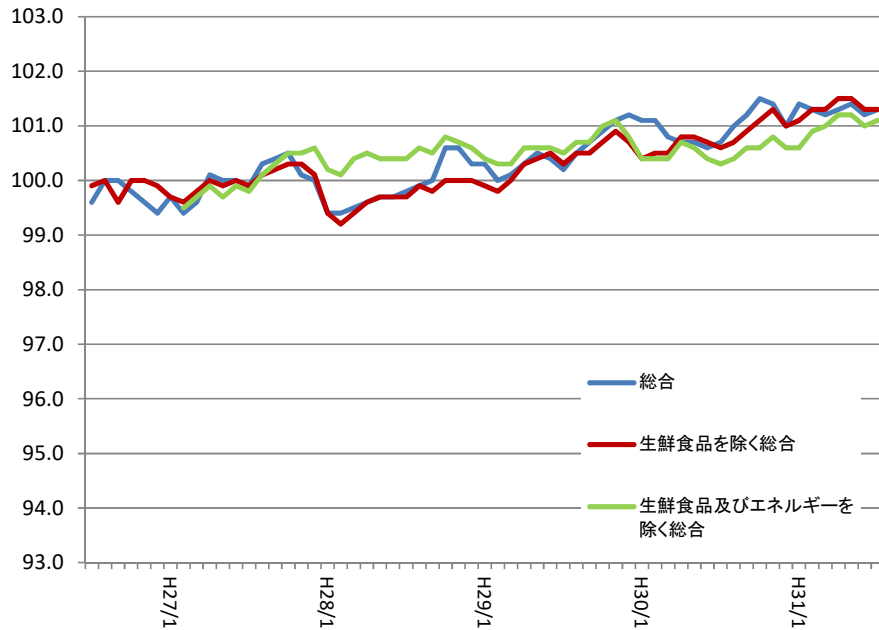
物価

1 消費者物価指数（7月）

<高知県>（高知市消費者物価指数） 「総合」、「生鮮食品を除く総合」及び「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」はともにプラスとなった。

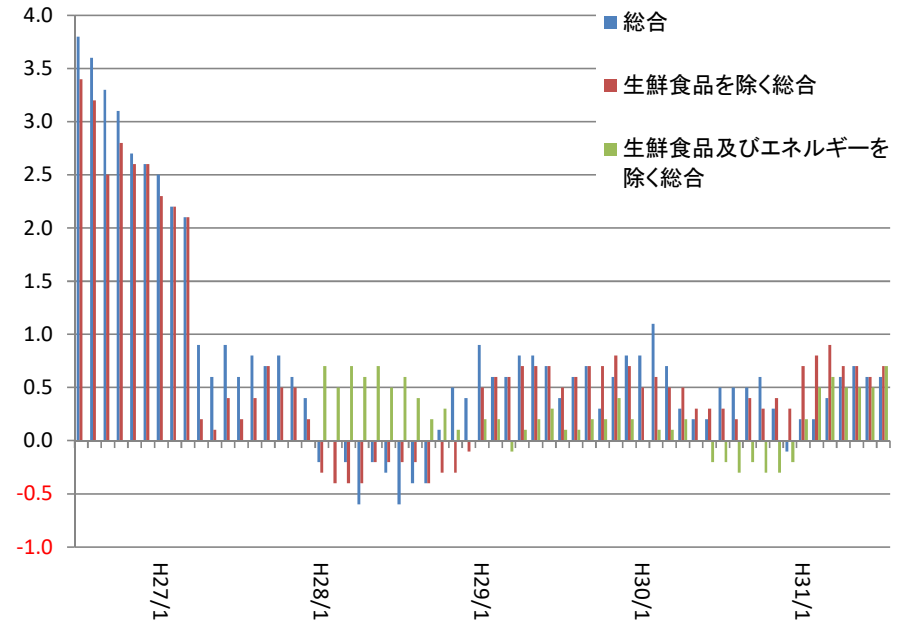
指数の推移

(H27=100)



前年同月比の推移

(%)



(高知県統計分析課)

結果概要

令和元年
(7月)

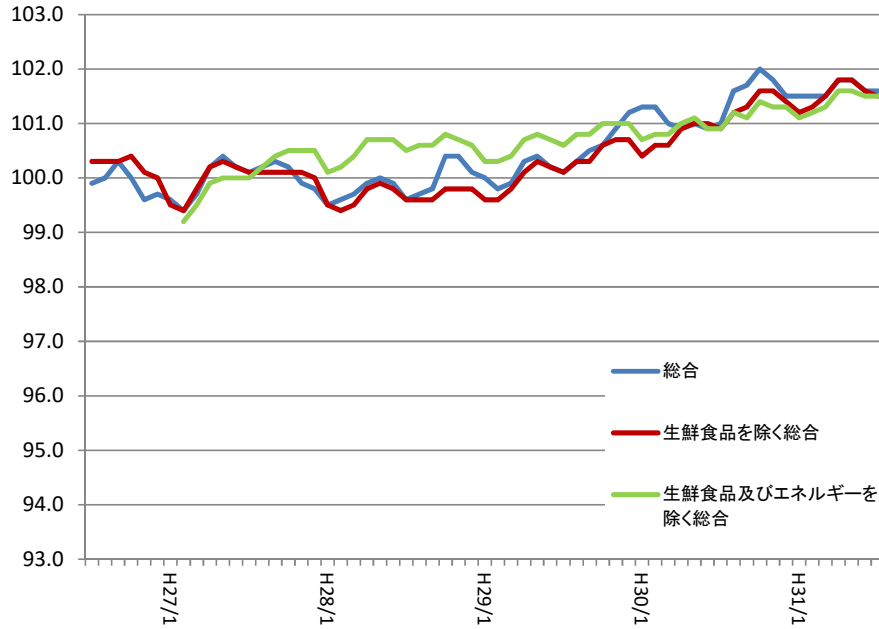
	指数	前年同月比
総合	101.3	+0.6 % (7ヵ月連続のプラス)
生鮮食品を除く総合	101.3	+0.7 % (31ヵ月連続のプラス)
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	101.1	+0.7 % (7ヵ月連続のプラス)

物価

<全国> 「総合」、「生鮮食品を除く総合」及び「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」はともにプラスとなった。

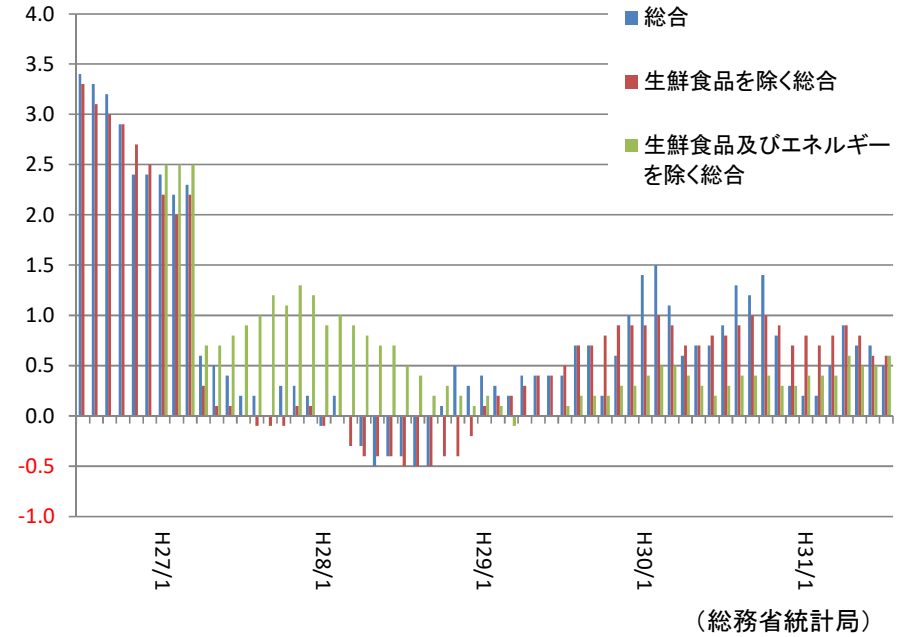
指数の推移

(H27=100)



前年同月比の推移

(%)



(総務省統計局)

結果概要

令和元年
(7月)

	指数	前年同月比
総合	101.6	+0.5 % (34カ月連続のプラス)
生鮮食品を除く総合	101.5	+0.6 % (31カ月連続のプラス)
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	101.5	+0.6 % (25カ月連続のプラス)

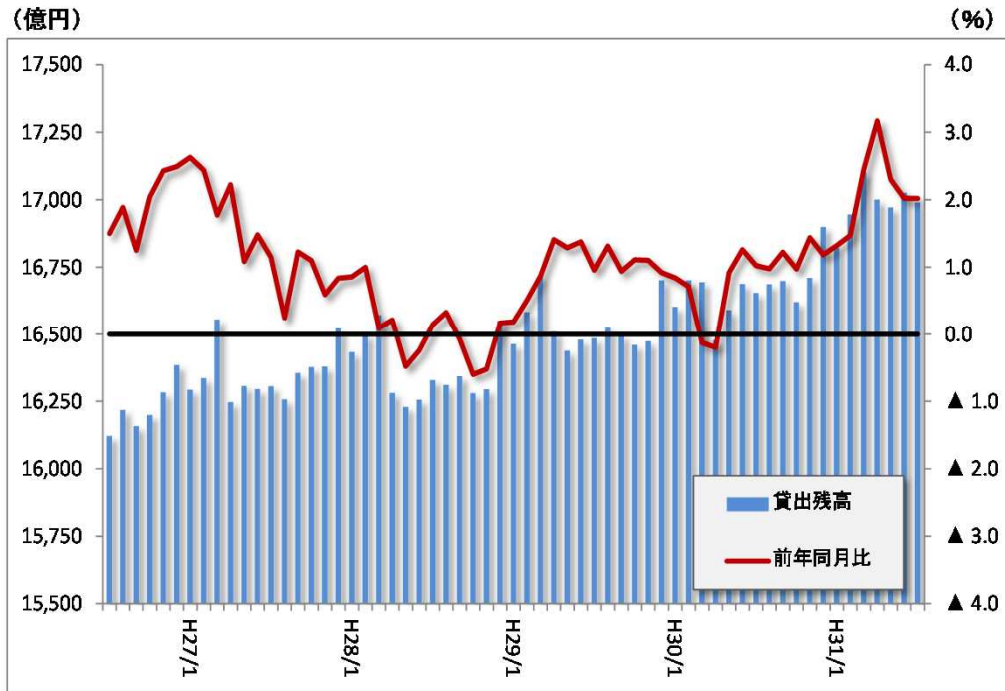
指標解説

消費者物価指数

- ・総務省の小売物価統計調査をもとに作成される代表的な物価指数の1つ。
- ・消費者が購入する商品やサービス価格を総合した物価指数で、特に天候などの影響を受けやすい「生鮮食品を除く」部分が注目される。
- ・景気動向指数の「運行指数」の系列に採用されることが多い。
- ・平成28年7月分の公表において、指数計算の基準となる年(基準年)が平成22年から27年に改定された。これに伴い、平成21年1月分まで遡って指数が改定された。

金融・倒産

1 国内銀行の県内貸出残高（7月）



(日本銀行高知支店)

結果概要

- ・1兆6,991億円。前年同月比+2.0%。
- ・15カ月連続のプラス。

(億円・%)

	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
貸出金	16,947	17,102	17,001	16,972	17,026	16,991
前年同月比	1.5	2.4	3.2	2.3	2.0	2.0

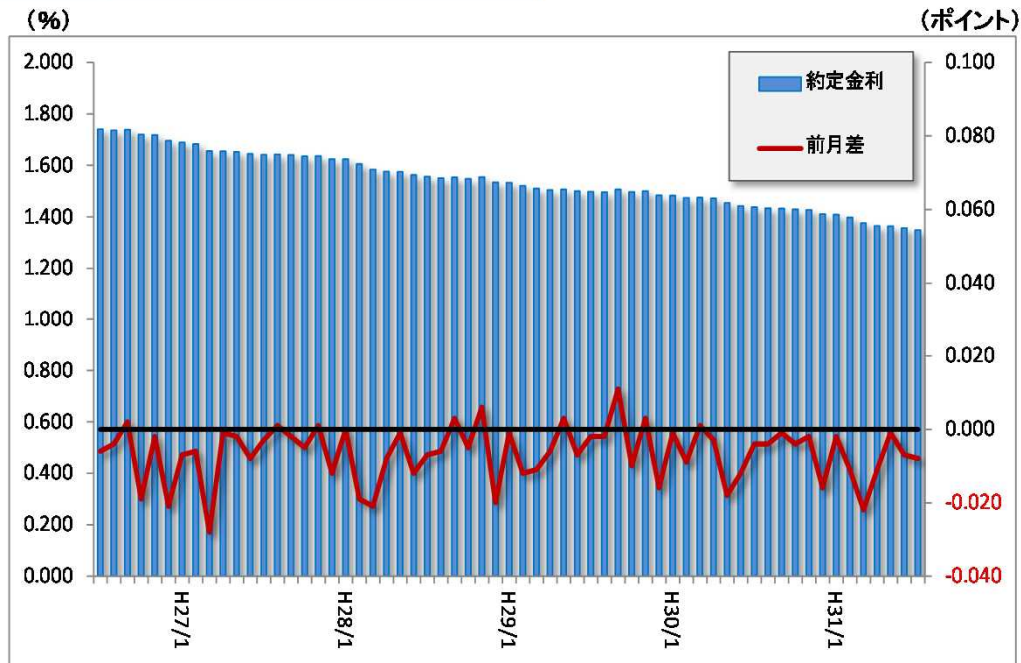
指標解説

・高知県内に店舗を置く国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)及び信用金庫、および信用組合の貸出金の合計。

・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。

金融・倒産

2 貸出約定平均金利（7月）



(日本銀行高知支店)

結果概要

- ・1.349%。対前月差▲0.008ポイント。
- ・16カ月連続の下降。

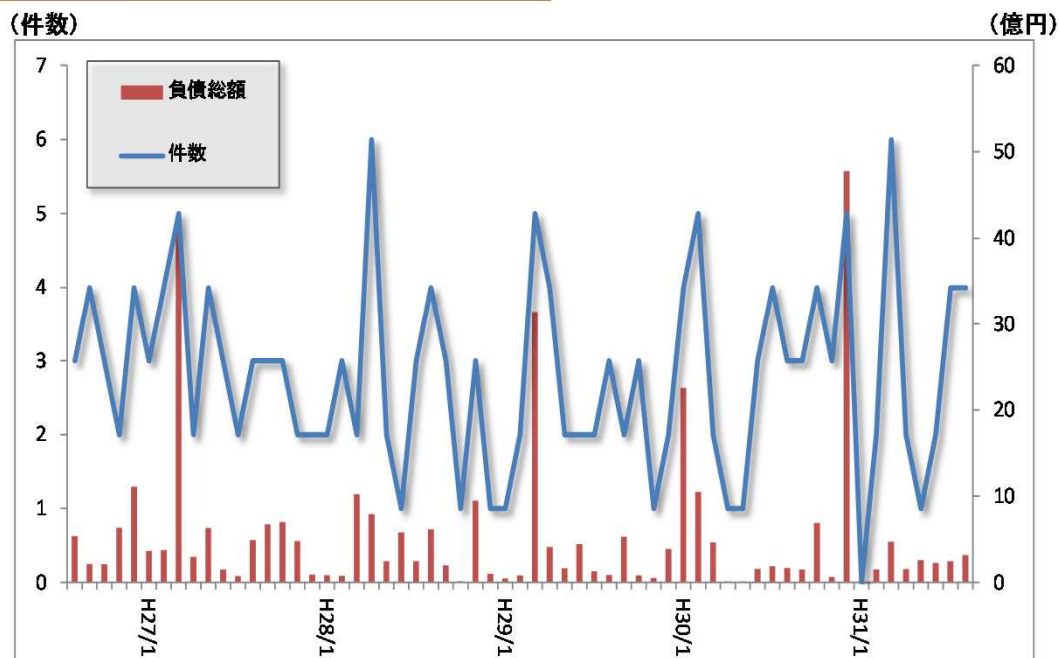
	(％・ポイント)					
	H31/2	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7
約定金利	1.398	1.376	1.365	1.364	1.357	1.349
前月差	▲ 0.011	▲ 0.022	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.007	▲ 0.008

指標解説

・高知県内に店舗を置く国内銀行(ゆうちょ銀行・三菱UFJ信託銀行を除く)の貸出平均金利を貸出金残高で加重平均したもの。

金融・倒産

3 企業倒産状況 (8月)



(東京商工リサーチ高知支店)

結果概要

<8月>

- 4件(製造業、不動産業、運輸業、サービス業他各1件)。
- 負債総額3億1,800万円。
- 前月比ベースの件数は同水準。
- 負債総額は7,000万円増。

<7月>

- 4件(サービス業他2件、製造業、建設業各1件)。
- 負債総額2億4,600万円。
- 前月比ベースの件数は2件増。
- 負債総額は1,900万円増。

(件・億円)

	H31/3	H31/4	R元/5	R元/6	R元/7	R元/8
件数	6	2	1	2	4	4
負債総額	4.74	1.57	2.60	2.27	2.46	3.16

指標解説

- ・法的整理、任意整理の合計値(負債総額1千万円以上)。
- ・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。